

日本共産党の広次忠彦です。

議第54号・工事請負契約の締結について(大分市消防局高機能通信指令設備等整備工事)について、質問します。今回の工事は、高機能通信指令システム設備工事などを、一般競争入札でおこない、契約金額は12億5820万円となっています。

通信指令システムは、消防・救急において重要な設備であり、つねに十分整備された状況にあることが求められていると思います。同時に、高額であるために、その設備をいかに有効に長期間利用するかも、検討していく必要があると考えます。

そこで質問しますが、現在のシステムを、新たなシステムに変更することによるメリット、有効に長期間活用するための取り組みについて、見解をお聞かせください。あわせて、4社が応札する予定が、2社が辞退していますが、どのような状況で、そうした事態になったかも、お聞かせください。

議第55号・工事請負契約の締結について(大分市立大在小学校南校舎増改築工事)、および議第56号・工事請負契約の締結について(大分市立大在中学校北西校舎改築工事)についてです。両工事とも、構造上危険な状態にある建物の改善をすすめるものと思います。

ところで、増改築される校舎は、どちらも一部中廊下となっています。中廊下の校舎では、「内側の窓を開けると、よその教室の音が聞こえる」「風が通らず暑い」などのデメリットがあります。

そこで質問しますが、中廊下のデメリットを、どのように解決するお考えでしょうか、見解を求めます。